

第 100 回

火山噴火予知連絡会資料

2005年2月23日

東北大学大学院理学研究科

岩手火山における歪・傾斜連続観測

2001年ころからの傾斜・歪変動傾向が、今期も継続している。

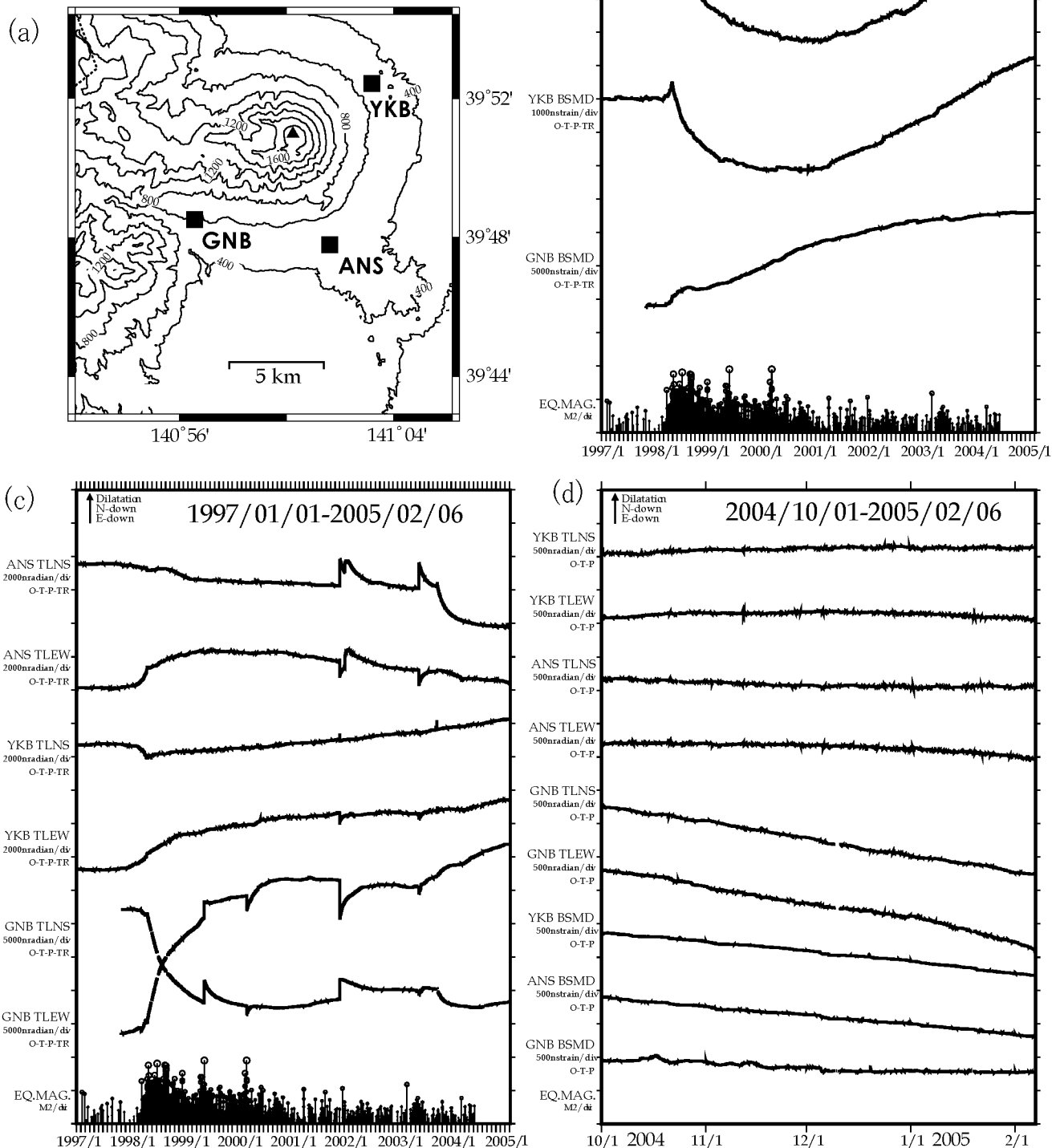


図1. 岩手山周辺における歪・傾斜変動記録。(a)観測点配置, (b)1997年1月~2005年2月6日における歪変動, (c)傾斜変動, (d)2004年10月1日~2005年2月6日の歪・傾斜変動。BSMD: 体積歪, TLNS: 傾斜南北成分, TLEW: 傾斜東西成分。(b), (c)は潮汐・気圧・トレンド補正済。(d)は潮汐・気圧のみ補正済。トビをともなう変動は有感地震の影響。

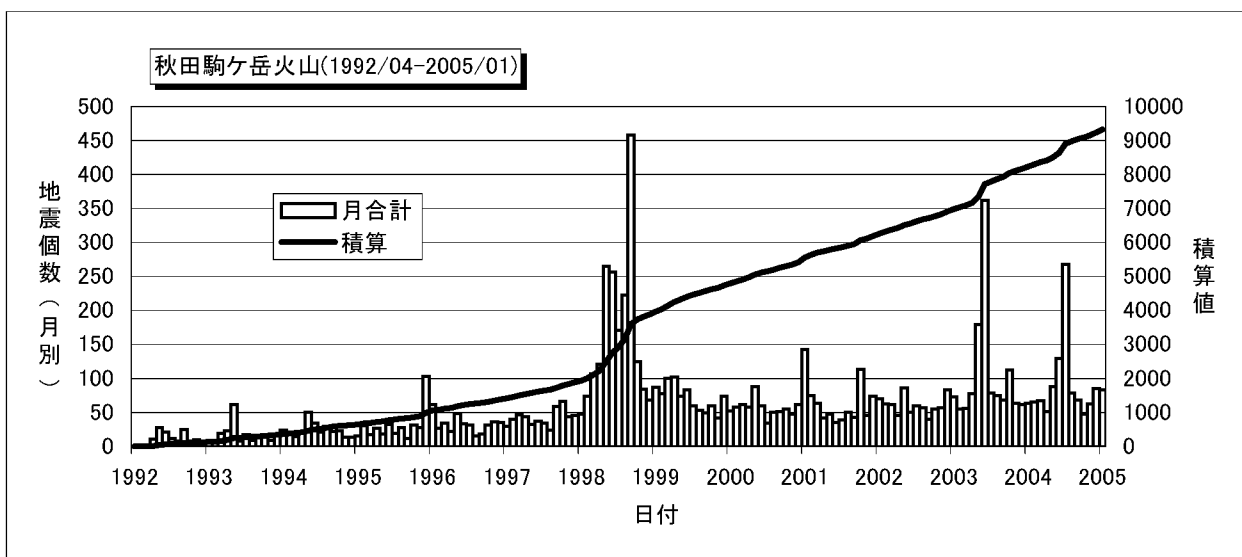
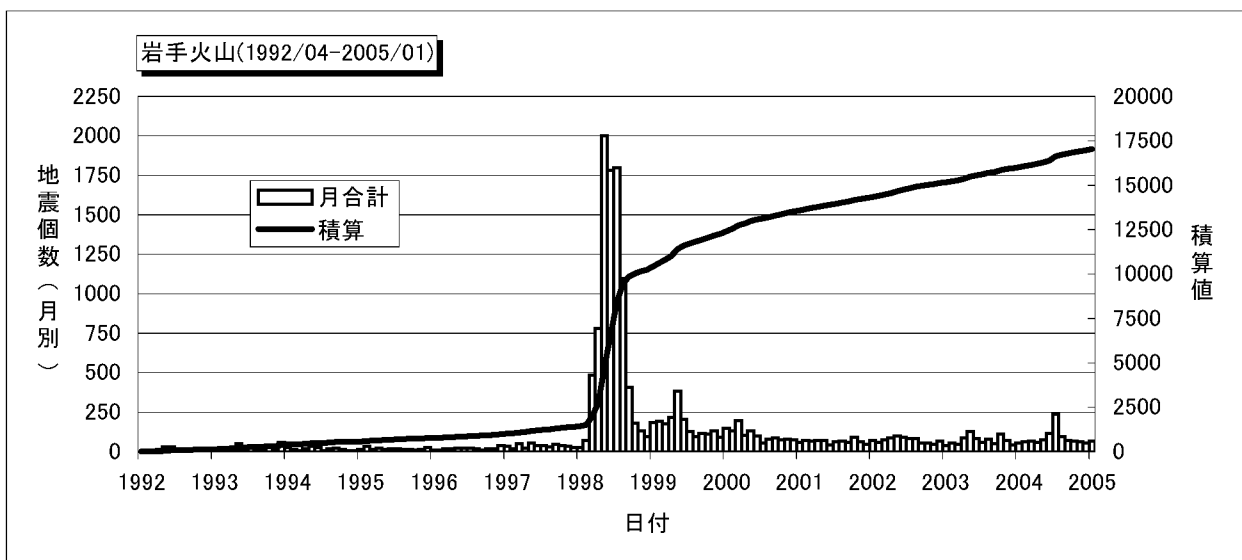
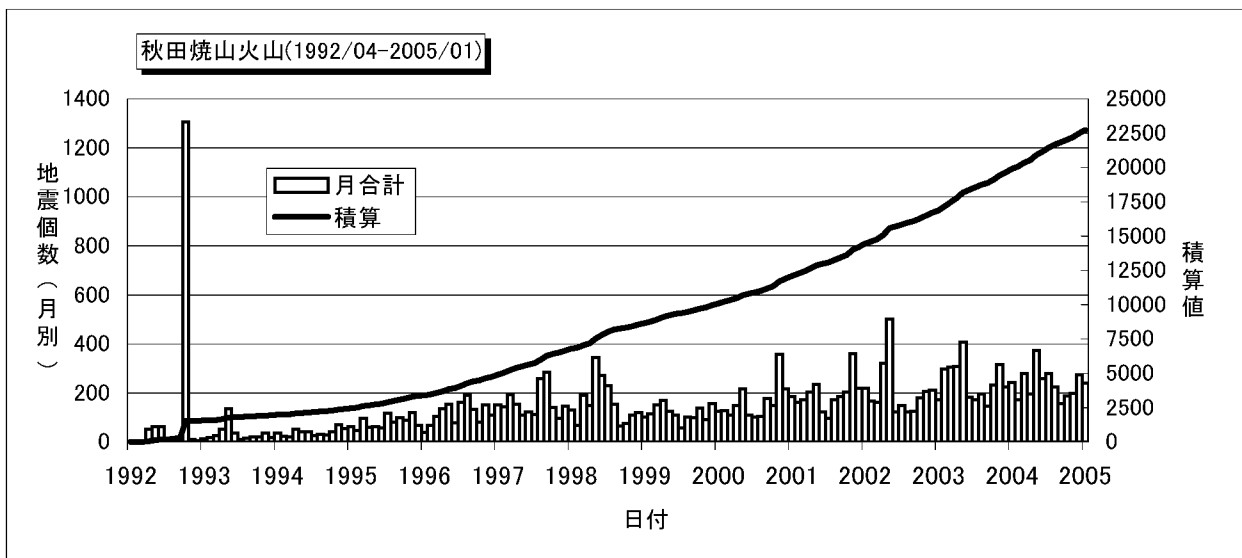


図 1. 秋田焼山火山, 岩手火山, 秋田駒ヶ岳火山の各火山ならびに周辺地域で発生した地震の月別頻度と積算個数の時間変化. 各火山における験測期間を火山名の横に示す.

秋田焼山, 岩手山, 秋田駒ヶ岳

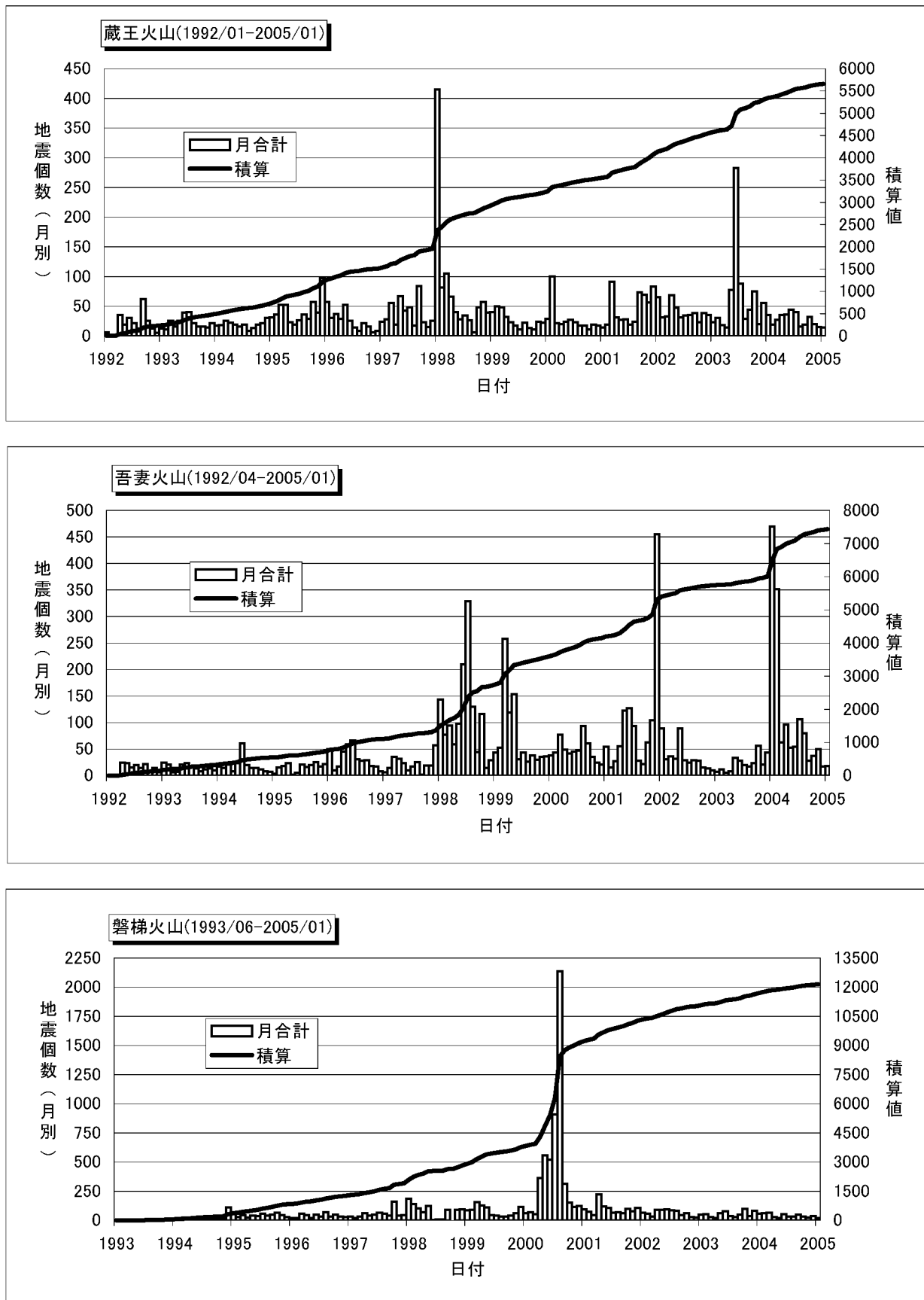


図2. 蔵王火山, 吾妻火山, 磐梯火山の各火山ならびに周辺地域で発生した地震の月別頻度と積算個数の時間変化. 各火山における観測期間を観測点名の横に示す.